日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	建築計画１

科目基礎情報

開設学科	建築学科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	開講時間	木　3〜4時限	授業形態	講義
教科書/教材	『初学者の建築講座　建築計画』（市ヶ谷出版社）、『コンパクト設計資料集成』（丸善）／配布資料				

担当教員情報

担当教員	三矢　雅人	実務経験の有無・職種	有・建築設計

学習目的

人体寸法に即した住まいの空間計画について基本寸法と共に理解する。戸建住宅及び集合住宅の基本知識を学ぶ。また、環境工学（計画原論；視覚・聴覚・感覚）についての基礎知識を習得する。人間が利用する建築物を考える上で基本となる考え方を、この授業を通して学ぶ。

到達目標

建築計画の役割、人体寸法に即した単位空間の計画、独立住宅と集合住宅の計画事例について理解する。空間の快適性を保証するための環境工学の中でも計画原論について理解する。

教育方法等

授業概要	この授業では、教科書と配布プリントを中心に進める。 体験型の学習（書いて覚えるなど）を行うので、筆記用具・コンベックス・三角スケール・三角定規、蛍光ペン（赤・黄・青など３色）を使用する。積極的に配布プリントや教科書・ノートなどに書き込むなどすることで、知識や技術を身につける。
注意点	毎回、教科書・筆記用具・蛍光ペンを持参すること。また、教員の指示によりコンベックス・三角スケール・三角定規を持参すること。 平常点を重要視するので毎回出席し授業中は配布プリントに書き込むことを心掛ける。 遅刻や欠席をしないこと。やむを得ず欠席した場合は、担当教員のいる時にプリントを受け取って、自分で学習すること。 なお、下記のスケジュールは、授業の進行状況や学生の習熟度状況によって変更することがある。

評価方法	種別	割合	備　　考
	試験	50%	試験の評価
	平常点	50%	授業中に取り組むプリント課題(毎回・回収予定)、授業態度や参加度、出席状況

授業計画（１回〜１５回）

回	授業内容	各回の到達目標
１回	建築計画とは、人体寸法と物	ガイダンス・基本寸法の把握
２回	人体寸法と空間	人体寸法にまつわる寸法把握
３回	階段とスロープ	階段・スロープの寸法把握
４回	全体で寸法を考える	全体計画から部分計画を考える方法について
５回	明治・大正期の住宅	近代住宅の成立過程と部屋の機能
６回	昭和の戸建て住宅	昭和期の戸建住宅紹介
７回	現代の戸建て住宅１	現代の戸建住宅実例紹介１
８回	現代の戸建て住宅２	現代の戸建住宅実例紹介２
９回	都市計画の理論	都市計画の基本知識
１０回	低層の集合住宅	集合住宅の基本知識
１１回	中高層の集合住宅	集合住宅の基本知識
１２回	視覚と建築	環境工学（視覚）の基本知識
１３回	寒暑感覚と建築	環境工学（感覚）の基本知識
１４回	聴覚と建築	環境工学（聴覚）の基本知識
１５回	まとめ	全体のまとめ